

自然災害への備えに「ぎょさい」と「積立ぷらす」

全国各地で梅雨入りしましたが、関東ではゲリラ豪雨やつむじ風が発生する不安定な天気となり、近年の猛暑や爆弾低気圧等の異常気象が今年も心配されるところです。また、アメリカが地球温暖化対策の国際的枠組みである「パリ協定」から離脱すると発表した事を受け、気候変動に左右されやすい漁業にも今後の影響が懸念されます。

実際、この100年間で日本海中部では1.7℃、四国から東海沖の太平洋沿岸域では1.23℃も平均水温が高くなっている事が気象庁の調べで明らかにされており、回遊性魚類の回遊域の変化に伴う豊・不漁や、昨年は日本近海で台風が発生し観測史上初めて東北地方に上陸する等、環境の変化が感じとれます。

自然を相手にする漁業にとって気候変動に起因する不漁、養殖物の生育不良、定置網・養殖施設被害等のリスクは大きく、これらに対して『ぎょさい』と『積立ぷらす』を利用する事で備える事ができます。

昨年度は主に、漁獲共済では不漁等によりさき定置漁業で15.3億円、大型定置漁業で10.6億円、養殖共済では高水温による死亡によりかき養殖業で7億円、特定養殖共済では色落ち被害等によりのり等養殖業で7.1億円、漁業施設共済では台風被害等により4.2億円の共済金をお支払いしました。

地球温暖化による漁業への影響は心配ですが、安心して漁業経営を続けて頂けるよう、共済団体一丸となって『ぎょさい』と『積立ぷらす』のより一層の浸透・定着に取り組んで参ります。

平成29年度の加入実績（5月末累計）

（単位：百万円）

区 分	共済金額			漁業者積立額		
	29年度	28年度	前年比	29年度	28年度	前年比
漁 獲 共 済	42,297	39,738	106%	2,188	2,059	106%
養 殖 共 済	94,287	88,953	106%	3,482	3,106	112%
特 定 養 殖 共 済	1,692	954	177%	64	44	144%
漁 業 施 設 共 済	5,166	4,402	117%			
地 域 共 済	1,162	947	123%			
合 計	144,604	134,994	107%	5,734	5,209	110%